

科目名	日本語教育概論Ⅲ(言語政策)
授業の目標・ねらい	日本語の言語政策の具体的な事例を通して、言語政策の仕組みを理解してもらうことを目的とする。世界各地で施行されている言語政策、言語計画の仕組み、日本語の標準語成立事情、日本語に関する施策などを取り上げます。日本語をめぐる言語政策について、その普及効果を含めながら、受講生達と一緒に考えます。
授業内容・授業方法	【第1回】 言語政策とは 日本／海外の言語政策、言語計画の仕組み 【第2回】 標準語の成立事情 標準語制定、国語調査委員会、内閣告示 【第3回】 日本語をめぐる施策 常用漢字表、日本語の表記、外来語言い換え提案
予習・復習	文化庁のウェブサイトでの国語施策に関するページを読んでもください
使用テキスト	プリントを配付します。
参考書等	
講師	朝日祥之
所属	
研究分野	社会言語学、変異理論、方言接触
講師紹介	移住によって形成されたコミュニティで生まれる接触方言の成立過程を、国内外の日本人コミュニティをフィールドとし、社会言語学の見地から調査研究を行っています。これまで西神ニュータウン、サハリン、北海道で収集した調査データをもとに、言語変容の過程を明らかにするための考察を行ってきました。